

### 第3回 秋田市地球温暖化対策実行計画策定等協議会議事要旨

1 開催の日時：平成27年11月18日（水） 14：00～16：00

2 開催の場所：秋田市環境部庁舎大会議室

3 委員の定数：15人

4 出席委員：11人

#### 5 議 事

(1) 秋田市地球温暖化対策実行計画について

ア 見直し素案について

(2) その他

#### 6 議事

(1) 秋田市地球温暖化対策実行計画について

ア 見直し素案について

委員	6ページに掲載されている写真はこのまま使用するのか。国民的な話題になっている事項もあるため、もっと詳しく、わかりやすいものにしていただきたい。
事務局	写真や図表などについては、新しいものに差し替えていきたいと考えている。
委員	17ページに記載している「気候変動への適応」を新たに記載したことは良いと思う。しかし、文書が抽象的であるため具体的な記載にして欲しい。
事務局	異常気象を想定した危機対応なども含めた記載方法について検討していきたい。
委員	10ページの上段「カンクン合意」についての記載を明確にして欲しい。 11～12ページについて、東日本大震災の発生とその後の社会情勢の変化についても記載した方が良い。
事務局	そのように変更したい。

- 委員 13ページの「ウ 今を生きる者として」について、ライフスタイルの変革が必要になっている、ということをもう少し具体的に記載してはどうか。
- 事務局 将来の環境制約を踏まえたライフスタイル変革は重要であるため、記載方法を検討したい。
- 委員 16ページ表1-3について全ての基準が2005年になるのか、二つの基準年があると思われぬように記載の仕方を工夫して欲しい。
- 事務局 了解した。
- 委員 28ページ【図2-10】の左の単位が“(台)”となっているが“(MJ)”ではないか。  
29ページ【図2-11】は、“一世帯当たり”とあるが、LPガス購入量が年によって大きく変動しているのは考えにくい。出所をもう一度確認して欲しい。
- 事務局 了解した。
- 委員 21ページ【表2-1】秋田市の温室効果ガス総排出量であるが、計算に用いた東北電力の排出係数は、調整後か、それとも調整前の実排出係数かを確認し、記載文書と合致するようにして欲しい。
- 事務局 了解した。
- 委員 24ページ【図2-3】について、民生業務部門が減少している理由は何か。国でも県でも、この部門は増加しているため、今一度確認して欲しい。
- 事務局 了解した。
- 委員 26ページで個別の業種で比較しているのはあまり意味は無いと思う。業種をターゲットにするようにも見られるため、部門ごとのまとめで良いのではないか。
- 事務局 了解した。
- 委員 目標設定のためにも、今後の電力の見通し等はどうか。積算のための

- 根拠が必要である。
- 委員 国が示しているのは、国全体の話しであって東北電力のことではない。東北電力では、将来の排出係数などまでは示せていないため、現段階では、推測という形しかできないのではないか。
- 委員 電力自由化になるとさらに係数がどうなるか難しい。
- 委員 自由化や石炭火力の問題もあるため、この目標設定をどうするのか議論が必要である。
- 委員 国際会議や国のエネルギー政策など、目標設定に関するものが動いている中なので大変と思う。
- 事務局 温室効果ガスの積算方法などは非常にわかりにくいものである。できるだけ一般市民に理解されるような形にしたい。
- 委員 38ページに記載の削減目標はどのように決定したのか。
- 事務局 取組による削減の積み上げに、排出係数の低減分を見込んだ者である。しかし、この排出係数は根拠に乏しく、協議会においてご意見いただきたい。
- 委員 “削減目標”ではなく、“削減努力目標”でいいのではないか。加えて、大きく変動する可能性もある、という記載をしてはどうか。
- 事務局 削減義務はないため、努力だと認識している。
- 委員 スマートシティは目標を達成したので、終わったということか。
- 事務局 第2回で検討し、それぞれ評価していただいた。終了したものもあれば、継続するものもある。
- 委員 以前はかなり具体的な記載であったものが、後退したような感じを受ける。
- 事務局 政策的な判断が出ていないため、明記は困難である。
- 事務局 農業や災害、生態系などに関する適応部分も柱に入れたいと思う。

委員 秋田の特性を生かして研究していくことも必要ではないか。特に、公共交通を使う、というが、どうすれば使うようになるのかなど、研究が必要だと思う。長期的な展望についても同じである。

委員 61ページにNPOを記載していただきありがたいが、NPOは現実的には運営が厳しい状況にある。支援策も必要と考える。

委員 森林吸収量について、促進されるような施策も検討が必要と思う。

委員 全国的にガソリンスタンドが減ってきているが、この分野においても、どのような取組方法があるか検討していく必要がある。

委員 運輸についてだが、車自体の性能が向上している。これまでの技術革新を見ていると、今後、車から出る温室効果ガスは低減されていくと思う。